



## 指標の分析

総合計画実施計画に掲げる平成27年度の目標値を達成している。

## 4. 施策の評価

### これまでの主な取組と成果

- ① 防災関係機関連携強化事業では、災害時における当組合と構成市との連携体制等について協議する会議の設置等に関して、例規文書案(仮称「埼玉西部消防組合構成市防災担当者連絡会議設置要綱」)を作成した。また、埼玉県下応援協定に関する運用基準に基づき、埼玉県下市町村で発生した災害に対する先行調査出動についてその計画を策定した。さらに、構成市全消防団員を対象に消防非常参集システム取扱訓練を行い、災害発生時の初動対応力の強化を図った。
- ② 広域応援体制整備事業では、緊急消防援助隊全国合同訓練へ1隊4人、第2ブロック緊急消防援助隊合同訓練へ10隊36人を派遣した。また、埼玉県特別機動援助隊合同訓練へ2隊10人、埼玉県特別機動援助隊応用訓練へ2隊10人を派遣し、災害対応力の強化及び広域応援活動の強化を図った。

### 今後の課題

- ① 防災関係機関連携強化事業では、組合と各構成市との間で、仮称「埼玉西部消防組合構成市防災担当者連絡会議設置要綱」の締結に向けた協議を開始し、円滑な消防活動体制を構築する必要がある。また、埼玉県下消防相互応援協定に関する運用基準の改正時には、関連する当組合の出動計画等の見直しが必要となってくる。
- ② 広域応援体制整備事業では、緊急消防援助隊に関する計画及び要綱等の改正時には、関連する当組合の出動計画等の見直しが必要となってくる。

### 今後の展開

- ① 防災関係機関連携強化事業では、現状のまま継続していくものとし、当組合と構成市との連携強化を進めていくため、仮称「埼玉西部消防組合構成市防災担当者連絡会議設置要綱」を締結する。
- ② 広域応援体制整備事業では、現状のまま継続していくものとする。なお、総務省消防庁が策定した「緊急消防援助隊の編成及び施設の整備等に係る基本的な事項に関する計画」が示されていることから、当組合においても、その計画を参酌した上で広域応援活動の強化に努めていく。

5. 構成事務事業の評価

事務事業名	主要施策名	事業種別	平成27年度	事務事業 評価/ 総合評価	有効 度	優 先 度
			決算額(千円)			
1 防災関係機関連携強化事業 (消防局)	511 災害応急対応の整備	行政管理(普及・啓発・ 対策/要綱等)	0	B 1	B	B
2 広域応援体制整備事業(消 防局)	512 広域応援体制の充実	行政管理(広域行政/ 要綱等)	1,662	B 1	B	B
3			0			
4			0			
5			0			
6			0			
7			0			
8			0			
9			0			
10			0			
11			0			
12			0			
13			0			
14			0			
15			0			
16			0			
17			0			
18			0			
19			0			
20			0			
小 計			1,662			
合 計			1,662			

構成事務事業の 適当性	関係機関等との連携強化に向けた災害応急対応の整備と広域応援体制の充実を具現化するための各事務事業の取り組みは、着実にその成果が現れており構成事務事業の適応性は高いものと評価する。
----------------	---